



[kaminorippo.org](http://kaminorippo.org)

# 神の律法：第1部：異邦人に対する 悪魔の大計画<

## サタンの異邦人に対する計画

### サタンの失敗と新たな戦略

イエスが父のもとに戻ってから数年後、サタンは異邦人に対する長期的な計画を始めました。イエスを仲間引き込もうとする試みは失敗し(マタイ4:8-9)、キリストを墓に留めておくというすべての希望は復活によって永久に打ち砕かれました(使徒2:24)。

蛇に残されたのは、エデン以来ずっと行ってきたことを異邦人の間で続けることでした：人類に神の律法に従わないよう説得することです(創世記3:4-5)。

### 計画の二つの目的

これを達成するためには、二つのことが必要でした：

1. 異邦人はユダヤ人とその信仰—人類の創造以来存在していた信仰—からできる限り遠ざけられなければなりません。イエスの家族、友人、使徒、弟子たちの信仰は放棄されなければなりません。
2. 彼らには、時の初めから理解されていた救いとは異なる救いを受け入れるための神学的な議論が必要でした。この新しい救いの計画は、異邦人が神の律法を無視することを可能にしなければなりません。

その後、悪魔は才能ある人々に、異邦人のための新しい宗教を創り出すよう靈感を与えました。それには新しい名前、伝統、教義が含まれていました。これらの教義の中で最も重要なものは、メシアの主要な目的の一つが異邦人を神の戒めを守る義務から「解放」することであると信じさせるものでした。



イエスの昇天後、悪魔は才能ある人々に偽の救いの計画を考案させ、異邦人をイスラエルのメシアであるイエスが宣べ伝えた信仰と服従のメッセージから遠ざけました。

## イスラエルからの遠ざかり

### 異邦人にとっての律法の挑戦

すべての運動は存続し成長するために支持者を求めます。それまでメシアニック・ユダヤ人によって守られてきた神の律法は、新しく形成された教会内で急速に拡大する異邦人のグループにとって挑戦となり始めました。

**割礼**、**七日目**の遵守、特定の**肉**を控えるといった戒めは、運動の成長に対する障壁と見なされ始めました。次第に指導部は、メシアの到来が非ユダヤ人に対する律法の緩和を含むという偽の議論の下で、このグループに対して譲歩を始めました—そのような議論は**旧約聖書**や四つの**福音書**に記録されたイエスの言葉に何の根拠もないにもかかわらず(出エジプト記12:49)。

### 変化に対するユダヤ人の反応

一方、数十年前にイエスが行ったしるしと奇跡に引き寄せられ、元の使徒を含む目撃者の存在に支えられながら、その運動にまだ関心を示していた少数のユダヤ人は、預言者を通じて与えられた神の律法を守る義務が徐々に放棄されることに当然ながら困惑していました。

これらは、イエス、使徒、弟子たちが忠実に従った同じ律法でした。

## 遠ざかることの結果

### 現在の礼拝の状態

その結果として、私たちが知るように、何百万人もの人々が今、毎週教会に集まり神を礼拝すると主張していますが、この神が契約によって自らに一つの民を選び出したという事実を完全に無視しています。

### イスラエルに対する神の約束

神は、この契約を決して破らないと明確に述べています：

「太陽、月、星の法則が不変であるように、イスラエルの子孫も永遠に神の前で民として存在しなくなることはない」(エレミヤ31:35-37)。

## イスラエルとの神の契約

### イスラエルを通じた救い

旧約聖書には、イスラエルに加わらない者に祝福や救いがあるとどこにも書かれていません：

「そして神はアブラハムに言われた：あなたは祝福となる。あなたを祝福する者を私は祝福し、あなたを呪う者を私は呪う。そしてあなたによって地のすべての家族が祝福される」(創世記12:2-3)。

イエス自身でさえ、救いがユダヤ人から来ることを明確に肯定しています：

「救いはユダヤ人から来る」(ヨハネ4:22)。

### 異邦人と服従

キリストによって救われたいと願う異邦人は、父が彼の名譽と栄光のために選ばれた民に与えた同じ律法—イエスとその使徒たちが守った同じ律法—に従わなければなりません。

父は、そのような異邦人の信仰と勇気を見ます、たとえ困難があっても。彼はその人に愛を注ぎ、イスラエルと結びつけ、赦しと救いのために子へと導きます。

これが真実であるがゆえに理解できる救いの計画です。

## 大宣教命令

### 良き知らせの拡散

歴史家によると、キリストの昇天後、いくつかの使徒と弟子たちは大宣教命令に従い、イエスが教えた福音を異邦人の国々に伝えました：

- トマスはインドへ行きました。
- バルナバとパウロはマケドニア、ギリシャ、ローマへ行きました。
- アンデレはロシアとスカンジナビアへ行きました。
- マティアスはエチオピアへ行きました。

良き知らせは遠く広く広がりました。

### 一貫したメッセージ

彼らが説くべきメッセージは、イエスが教え、父を中心としたものと同じでした：

1. イエスが父から来たことを信じること。
2. 父の律法に従うこと。

イエスは最初の宣教師たちに、神の王国についての良き知らせを広める使命において彼らが一人ではないことを明確にしました。聖霊が彼らと共に過ごした時にキリストが教えたことを思い出させてくれるでしょう：

「しかし、弁護者である聖霊を、父が私の名において遣わすとき、その方はあなたがたにすべてのことを教え、私があなたがたに言ったすべてのことを思い出させてくれるでしょう」(ヨハネ14:26)。

指示は、彼らが師から学んだことを教え続けることでした。

## 救いと服従

### 救いの単一のメッセージ

福音書には、イエスが彼の宣教師たちが非ユダヤ人のために特別に作られた異なる救いのメッセージをもたらすと示唆している箇所はどこにもありません。

## 服従なき救いの偽りの教義

異邦人が父の聖なる永遠の戒めに服従せずに救いを得られるという考えは、イエスの教えには見られません。

律法への服従なしに救いを得るという考えは、イエスの言葉に支持されておらず、どれほど古く、あるいは人気があるとしても偽りです。